

ゆめ わらわ 夢 立 菅波 茂

菅波 茂

不条理の世界はAMD 象は生老病死の世界。命Aの永遠のテーマである。の普遍性。宗教家は心の四苦の世界。魂の永遠性。な目に遭うのか。そして「見放さないでほしい」という魂の叫びである。協力が求められている。

仏教的に言えば、四苦 東日本大震災でAMD A八苦の世界である。前半の調整員として参加したの四苦とは体の苦しみ。若い僧侶による読経が遺生老病死である。①生と族に喜ばれたことは記憶は今日のご飯がない貧しに新しい。

②老とは身体機能が衰えて他人依存となること 三原則で不条理の世界に③病とは治療が受けられない、治らないこと④死 いる人たちに対応している。三原則とは①誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある②この気持ちの前半の四苦とは心の苦しみ。①地位、名誉、お前には民族、宗教、文化金などを求めても得られない②嫌いな人に会う③受ける側にもプライドがある――。

愛しい人との別れ④心の衝動が抑えられない―― 援助をする人と援助を受ける人の直接的な関係はスポンサーシップ。援

不条理世界と援助三原則

助を受ける人のプライドを破壊する一番危険な人間関係である。「お互いに必要とする過程で尊敬と信頼が生じる人間関係」であるパートナーシップに昇華させなければいけない。どうすればいいのかわからない。今、あなたが困っているから助けます。将来私が困ったら助けます。相互扶助の導入により援助する人と援助を受ける人がパートナーシップになる。互扶助の導入により援助する人と援助を受ける人がパートナーシップになる。互扶助の導入により援助する人と援助を受ける人がパートナーシップになる。

「被災地のことがよくわかっていない被災者のあなただけのイニシアチブで問題解決をしましょう」というローカルイニシアチブの導入でプロジェクトを実施者と援助を受ける人がパートナーシップになる。AMD A多国籍医師団の枠組みの応用とそ

AMD A多国籍医師団の枠組みの応用とそれが人道援助の三原則の具現化である。「救える命があればどこまでも」の「あなた方を見放していません」というメッセージ。平和構築分野として2000年から実施している紛争や災害による死者に拡大していききたい。

AMD A多国籍医師団は多国籍医師団でもある。医師としての職業的倫理感と各自の宗教観が相乗効果をもたらしている。AMD A単独の展開による限界を超える方法論として、GPS (世界平和パートナーシップ) を不条理の世界に対して位置付けている。世界は常に変化していることを大前提として、「不条理の世界と人道援助の三原則」の枠組みの応用とそれが人道援助の三原則の具現化である。「救える命があればどこまでも」の「あなた方を見放していません」というメッセージ。平和構築分野として2000年から実施している紛争や災害による死者に拡大していききたい。



東日本大震災で被害を受けた岩手県大槌町
2011年3月、国際フォトジャーナリストの河田雅史氏撮影

「見放さないでほしい」皆様方にご理解とご支援をいただければ望外の喜びである。(AMD Aグループ代表)